

第2回日本ジオパーク全国大会 2011 洞爺湖有珠山大会に関する報告 Report on the 2nd Japanese Geoparks Network Conference 2011 in Toya-Utsu Global Geopark

真屋 敏春¹, 三松 三朗², 原口 ゆみ子¹, 野呂 圭一¹, 高橋 俊也¹, 加賀谷 にれ^{1*}, 畑 吉晃³, 伊藤 晋³, 岡田 弘³
MAYA Toshiharū¹, MIMATSU Saburo², HARAGUCHI Yumiko¹, NORO Keiichi¹, TAKAHASHI Toshiya¹, KAGAYA, Nire^{1*},
HATA Yoshiaki³, ITO Shin³, OKADA Hiromu³

¹ 洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会, ² 三松正夫記念館, ³ NPO法人環境防災研究機構

¹Toya Caldera and Utsu Volcano Global Geopark Council, ²Mimatsu Masao Memorial Museum, ³NPO Crisis and Environmental Management Policy Institute Hokkaido

第2回日本ジオパークネットワーク大会(JGNC2)が、2011年9月29日から10月1日に、観光都市である洞爺湖温泉で開催された。日本の世界ジオパーク第一号指定を受けた洞爺湖有珠山世界ジオパークの地にとって、これは2009年の指定以後の3年間のジオパーク活動の総括と、再審査を控える今後への重要なステップとなるものであった。

2010年第一回大会糸魚川を手本とし、更なる発展を目指して、真屋敏春洞爺湖町長を組織委員長、三松三朗氏を実行委員長として、科学・学術、おもてなし、ジオツアーの専門部会の元で、様々な企画に取り組んだ。関連イベントなどの企画の詳細は、88ページに及ぶ「第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会報告書」や、ホームページなどを参考にされたい。

大会期間中の主な企画は、1. 観光、防災、教育、ガイドの4分科会、2. 事前・事後各4コースの見学会、3. ポスターセッション(86課題)、4. 写真展、5. 子供企画(キッズフェスティバルとキッズツアー)、6. 基調講演とパネル、7. 倉本聰氏の特別講演と鼎談(倉本、三松、伊藤)、8. JGN関連会議、などである。会議への参加者は671名、特別講演会などへの参加は800名だった。

この全国大会が開催された2011年の春、3.11東日本大震災が発生し、日本列島はもちろん世界中が大きな悲しみにあふれ、またジオが織り成す壮大なスケールに圧倒されていた時であった。この日本大会でもその背景を重んじ、開会セレモニーを黙祷で開始し、企画プログラムでも様々な配慮を盛り込んだ。

閉会にあたり、洞爺湖有珠山日本ジオパーク大会宣言が承認された。宣言では、霧島ジオパークの新燃岳噴火や、未曾有の災害である東日本大震災が、我々人類が「生きている星-地球」の一員であり、地震や噴火など地球の必然的な営みであることを強く再認識し、ユネスコが掲げる「地球と人との関わり」、「大地との共生」、「持続可能な地域社会の形成」などの理念のもとで、ジオパークが社会に果たす重要な役割を認識し、以下の4点の推進を誓った。

1) ジオツーリズムを通じて、産業振興と雇用の拡大による持続可能な地域社会を形成します。2) 教育活動を通じて、防災意識と環境配慮意識を高めます。3) 自然と共生してきた先人の教訓を伝承し、国内外の安全文化の構築に貢献します。4) 国内外のジオパークと連携し、ジオパークの取り組みの発展と拡大を目指します。

キーワード: 洞爺湖, 有珠山, ジオパーク, 火山, 共生, 防災

Keywords: toya, utsu, geopark, volcano, co-existence, disaster preventi